

# 昭和56年度組織的調査研究活動推進事業報告書

## (久米島におけるトビイカ釣り漁業)

嘉 数 清

### 1. 目 的

本県周辺海域には豊富なトビイカ資源があると考えられており、今後の沿岸漁業振興の一つとして、トビイカ生産量の大幅増加が期待されている。しかし、現実のトビイカ生産量は昭和49年の358トンから55年には118トンに減少しており、今後のトビイカ漁業の振興を図るためには、解決すべき種々の問題点があるものと考えられる。

本調査は、久米島地域におけるトビイカ漁業の現状を明らかにし、同地域のトビイカ漁業を振興する上での問題を抽出し、その対応策を検討することにより、本県におけるトビイカ漁業の発展を促進することを目的とする。

### 2. 調査期間

56年度を初年度とし、57年度までの2年間の予定である。

### 3. 調査結果

#### (1) 久米島における漁業の概況

##### ① 人 口

沖縄南部の離島、久米島は那覇の西北西約100kmのところ地理位置し、行政的には仲里村と具志川村とから成る。人口及び世帯数は表1に示すとおりである。

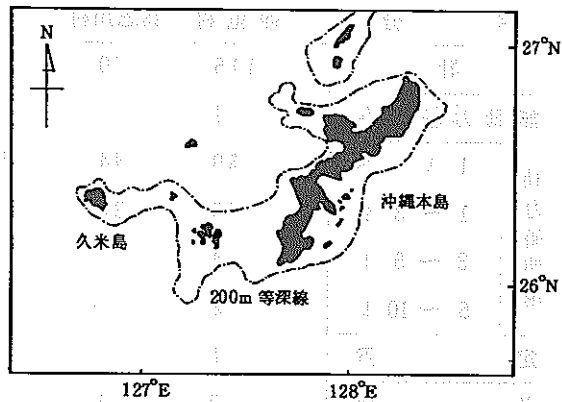


図1 久米島位置図

表1 久米島の人口及び世帯数

(昭和56年11月1日現在)

	人 口 (人)			世 帯 数	備 考
	男	女	計		
仲 里 村	2,719	2,596	5,315	1,528	県計人口 1,118,734人 (男) 549,866人 (女) 568,868人 県計世帯数 306,938
具 志 川 村	2,446	2,344	4,790	1,337	
計	5,165	4,940	10,105	2,865	

資料：県統計課